

令和7年度
シラバス

教科・科目	商業・総合実践	単位数	2
-------	---------	-----	---

学年・クラス	3学年（必修・ 選択 ）	担当者	保坂剛司
使用教科書	なし		
使用副教材	実教出版 総合実践 三訂版		

目標

商業の各分野に関する知識と技術を実践的活動を通して総合的に習得する。
ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う能力と態度を育てる。

授業の内容・進め方

○授業内容：簿記に関する基礎的・基本的な知識と技術を生かし、仕訳や諸表簿から様々な情報を読み取り、最終的には財務諸表とよばれる企業の経営状態を表した「損益計算書」および財政状態を表した「貸借対照表」、双方を組み合わせた「精算表」の作成し、会社経営の一連の流れを理解する。

○授業の進め方：教科書、プリントを中心に学習していきます。

○考査の内容：主に授業で学習した内容を中心に、問題集やプリントからも出題されます。内容は簿記の基本である仕訳から帳票類の記述、財務諸表の作成までの範囲となります。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決しようとしている。	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	定期考査（年2回）	◎	○	○
	小テスト（適宜実施）	○	◎	○
	課題提出①（適宜実施）	○	○	◎
	課題提出②（夏季・冬季休業中の課題）	○	◎	○
	授業への参加（通年）	○	○	◎

- ・ **観点別評価** 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。
A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する
- ・ **評価・評定** 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び中単元別評価基準

学期	月	単元	学習内容	評価規準						
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
前期	4	第1編 「総合実践」の基礎	オフィスの仕事と「総合実践」の学習	一連の商品売上の業務を実践的に行い、商業活動に必要な基礎的・基本的な知識と技術を総合的に身につけている。	「みずから考え行動し、みずからの力で解決する。」という自主的な学習活動を行い、商業経営に必要な業務を合理的、能率的に処理することができている。	対応の心得や学習上の心得をよく守って、いろいろな業務に従事するために必要な積極性、責任感、勤勉さを養い、正しい言葉遣いやよいマナーを主体的に身に付けようとしている。				
	5	第1章 「総合実践」の学習にあたって	「総合実践」の学習上の心得 マナーの基本 ビジネスマナー							
	6	第2章 対応の心得	対応の一般的心得 話し方と心遣い 来客の対応 電話による対応							
	前期中間考査									
	7	第3章 文書の作成	事務における文書の重要性 事務文書の役割と特質 文書作成の基本 通信文書の作成				記帳の合理化について理解を深め、文書作成から代金の支払い、さらに特殊仕訳帳の記帳、仕入伝票・売上伝票の起票に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	取引の一連の流れを理解しつつ必要な帳簿・取引など、どのように合理化されているのかを考えている。	記帳の合理化に関心をもち、自分から進んで教科書を読んだり、疑問点を整理し、意欲的に授業の中で確認しようとする態度が見られる。	
	8	第4章 代金の支払い	小切手による支払い 手形による支払い 振り込みによる支払い				取引の意味を理解し、決算手続きに至る基礎的・基本的な知識を身につけている。 また、財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を有し、財務諸表の役割を理解している	一般的な分課制度を前提に、どのような帳簿が必要なのかについて考えている。	整理事項に関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとしている。	
	9	第2編 「基本取引」 第1章 取引開始にあたって	流通経路 帳簿組織 文書及び商品の流れ	前期末考査						

学期	月	単元	学習内容	評価規準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
後期	10	第2章 仕入取引	商品の発注 商品の受け取り 代金の支払い	商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また、各種補助簿の役割を理解し、取引の流れを理解している。	仕入取引・販売取引を通じて経営活動を明瞭に表現することができる。	商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳は、どのように行うのかについて関心をもち、決算業務まで統計的に理解しようとしている。	
	11	第3章 販売取引	商品の受注 商品の発送 代金の受け取り				
	12	第4章 取引のまとめ (会計処理)	諸経費の支払い 伝票の集計と転記 決算業務				
	後期中間考査						
	1	第3編取引演習 第1章		上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ	
	2	取引開始にあたって	取扱商品 流通経路 帳簿組織 勘定科目 取引企業と取引銀行				
	3	第2章 総合取引演習	演習上の注意				
後期期末考査							